

三重県における人口移動状況について

2016（平成28）年の住民基本台帳人口移動報告によると、転出超過数は3,597人で、2015（平成27）年の転出超過数4,218人より621人改善した。しかし、「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」における社会減対策の数値目標の出発点となる転出超過数3,000人（住民基本台帳人口移動報告2013（平成25）年と2014（平成26）年の2カ年の平均値、以下「基準値」という）と比べると、転出超過数が597人増加している。

また、2016年の転入者数は25,728人、転出者数は29,325人であるが、2010（平成22）年からの推移をみると、転出者数は増減があるものの、ほぼ同水準を推移しているが、転入者数は減少傾向にある。

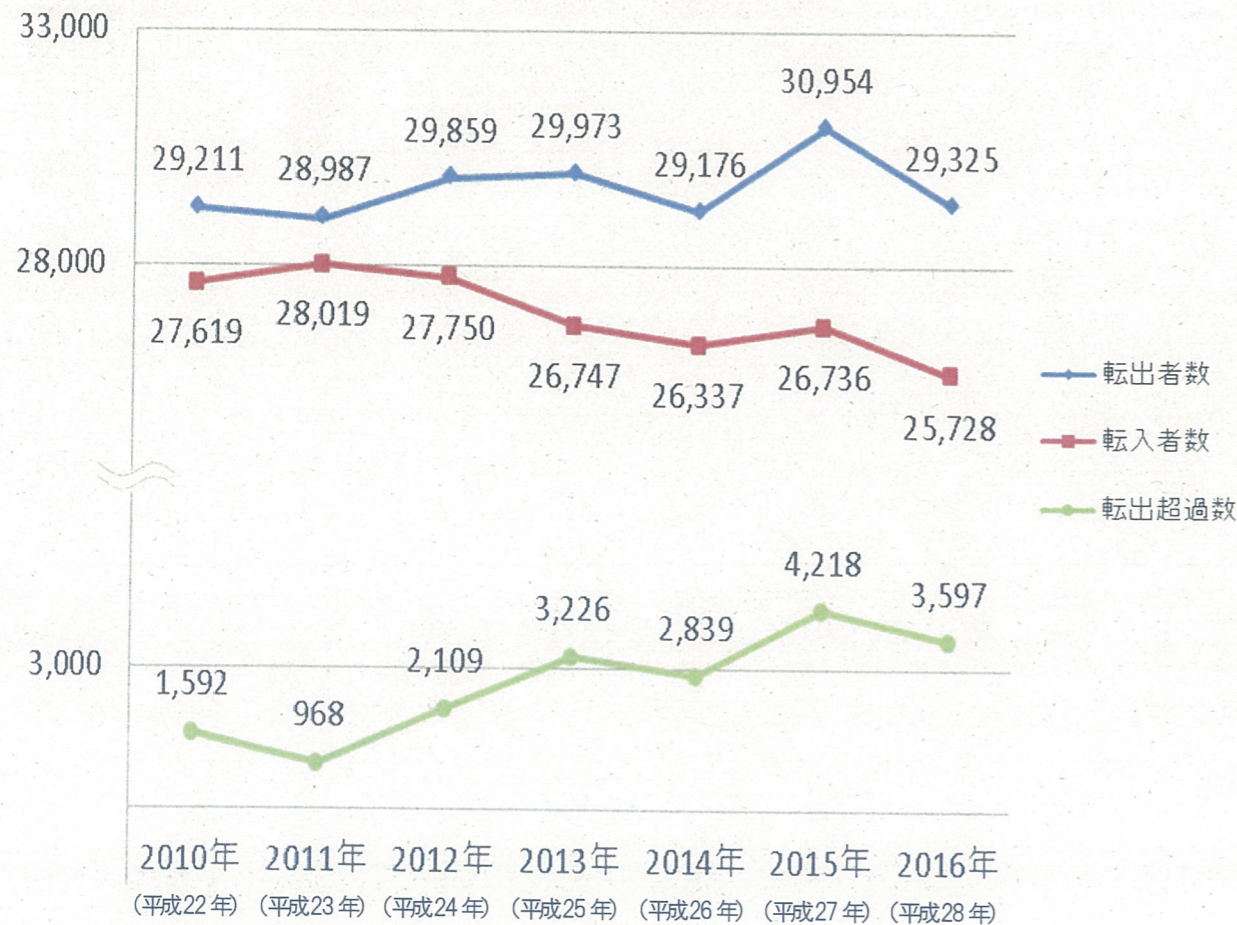
ここでは、転入・転出超過数、転入者数、転出者数のそれぞれについて、「年齢階級別」、「地域ブロック別」の推移をみることで

- ・2016年の転出超過数が基準値から597人増加している要因
- ・2016年の転入者数が減少している要因

は何なのかといったことを探るために分析する。

なお、分析にあたっては、基準値の算出根拠とした2013年及び2014年を2016年の比較対象とした。

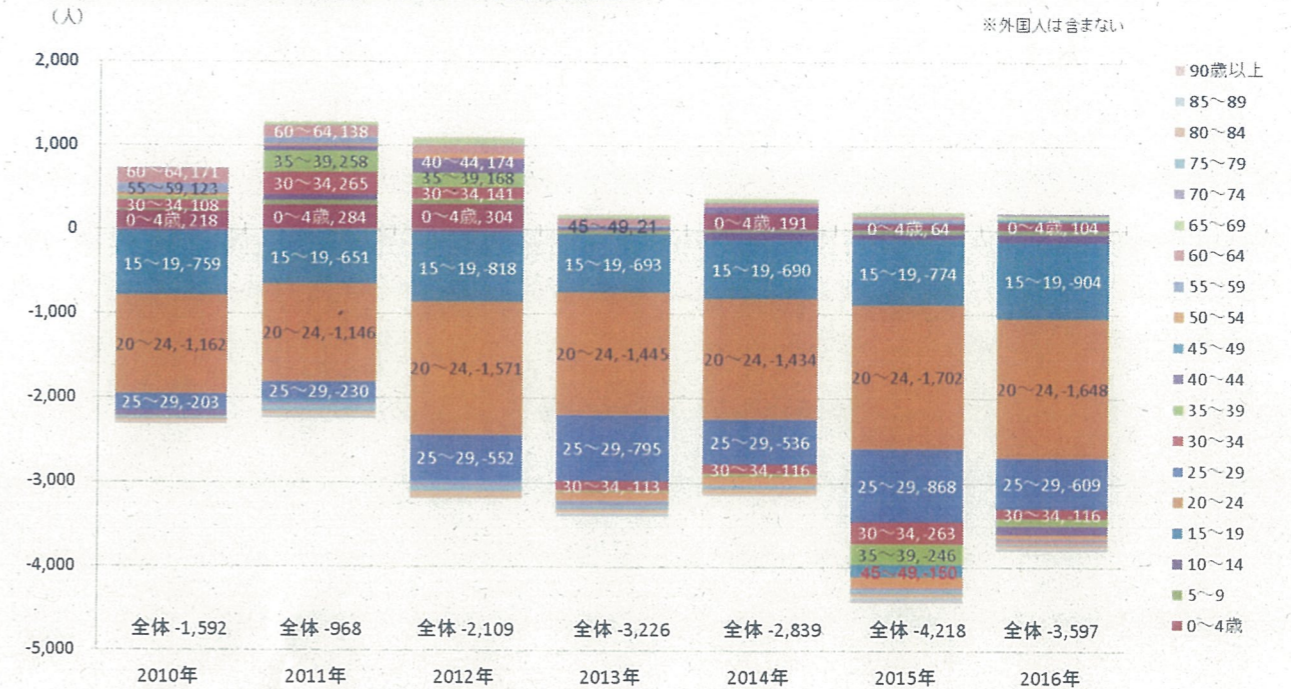
【図1】三重県における転出超過数、転入者数、転出者数の推移



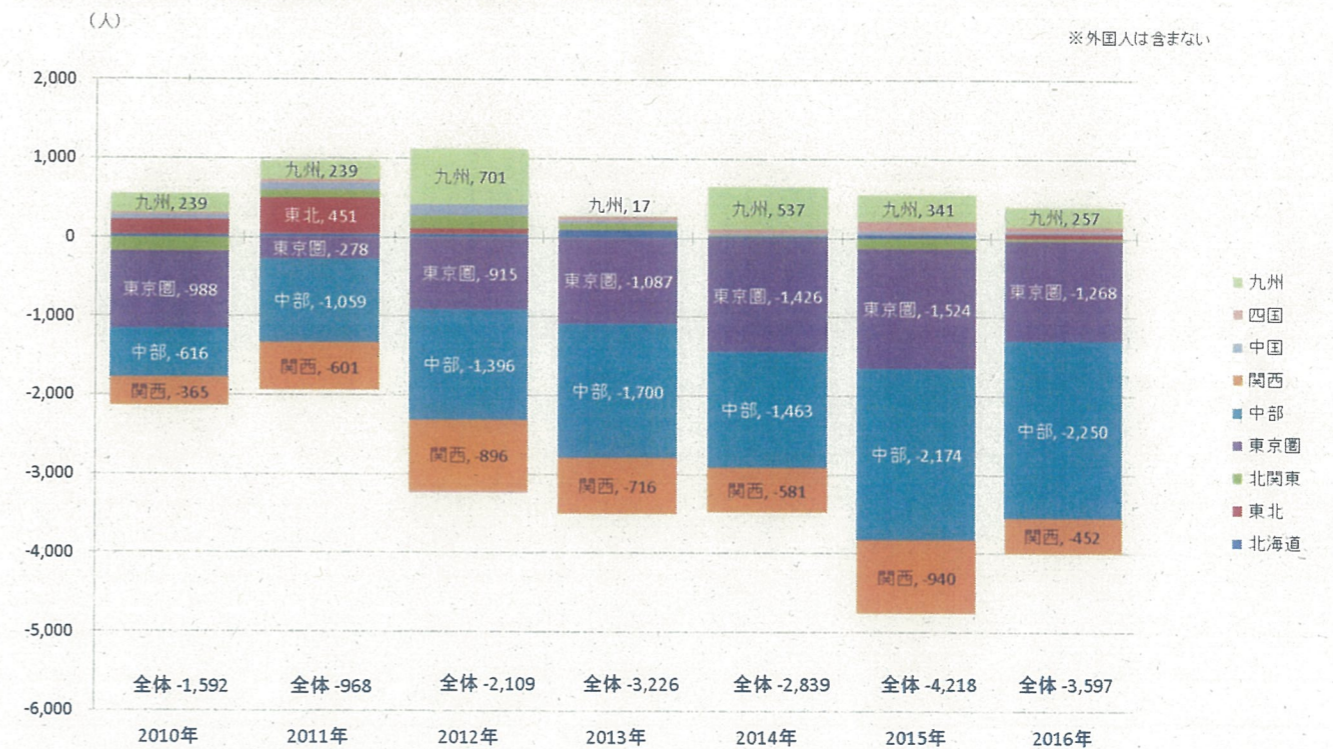
※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

(1) 三重県における転入・転出超過数の推移（年齢階級別、地域ブロック別）

【図2】転入・転出超過数の推移（年齢階級別）



【図3】転入・転出超過数の推移（地域ブロック別）



※地域ブロック区分は下記のとおり

- 【東北】青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 【東京圏】埼玉、千葉、東京、神奈川
- 【関西】滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 【四国】徳島、香川、愛媛、高知

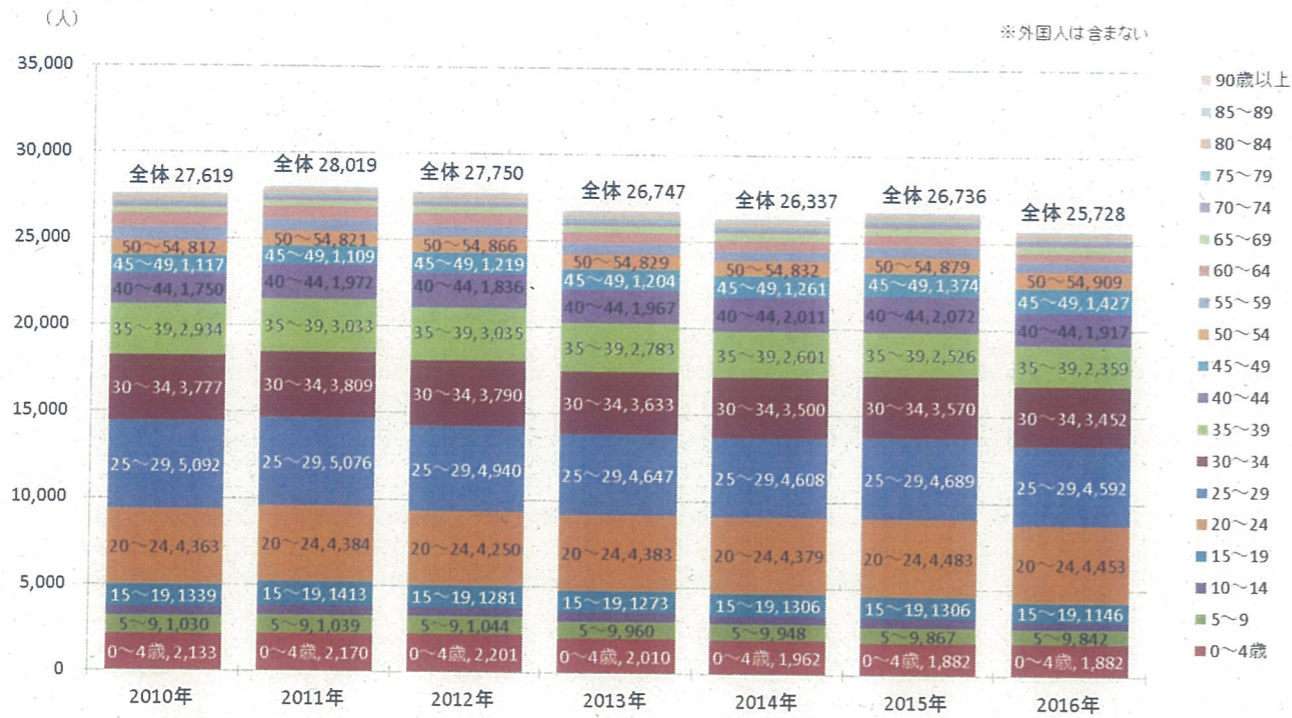
- 【北関東】茨城、栃木、群馬
- 【中部】新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
- 【中国】鳥取、島根、岡山、広島、山口
- 【九州】福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

2016年の三重県の転入・転出超過数は3,597人の転出超過で、その内訳をみると、年齢階級別では、15歳～19歳（904人）、20歳～24歳（1,648人）、25歳～29歳（609人）の転出超過が多い。また、地域ブロック別では、中部（2,250人）、東京圏（1,268人）、関西（452人）に対して3,970人の転出超過となっている。

(2) 三重県における転入者数、転出者数の推移 (年齢階級別)

【図4】 転入者数の推移 (年齢階級別)



◇年齢階級別

・2016年の転出超過数が基準値から597人増加している要因として、15~24歳(進学・就職世代)の転出者数が増加していることが大きく影響していると考えられる。
 ・2016年の転入者数が減少している要因として、30~44歳と0~14歳の転入者数が減少していることが影響していると考えられる。

① 0~4歳、5~9歳、10~14歳、30~34歳、35~39歳、40~44歳

・2013年の0~14歳と30~44歳の転入者数の合計は11,902人、転出者数の合計は12,059人となっており、157人の転出超過となっている。
 ・2014年の0~14歳と30~44歳の転入者数の合計は11,519人、転出者数の合計は11,509人となっており、10人の転入超過となっている。
 ・2016年の0~14歳と30~44歳の転入者数の合計は10,851人、転出者数の合計は11,200人となっており、349人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転出者数の減少幅よりも転入者数の減少幅が大きい。

② 15~19歳、20~24歳

・2013年の15~24歳の転入者数は5,656人、転出者数は7,794人となっており、2,138人の転出超過となっている。
 ・2014年の15~24歳の転入者数は5,685人、転出者数は7,809人となっており、2,124人の転出超過となっている。
 ・2016年の15~24歳の転入者数は5,599人、転出者数は8,151人となっており、2,552人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数はほぼ同水準で推移しているが、転出者数は大きく増加している。

③ 25~29歳

・2013年の25~29歳の転入者数は4,647人、転出者数は5,442人となっており、795人の転出超過となっている。
 ・2014年の25~29歳の転入者数は4,608人、転出者数は5,144人となっており、536人の転出超過となっている。
 ・2016年の25~29歳の転入者数は4,592人、転出者数は5,201人となっており、609人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数はほぼ同水準で推移しているが、転出者数は多少の増減があるものの、減少している。

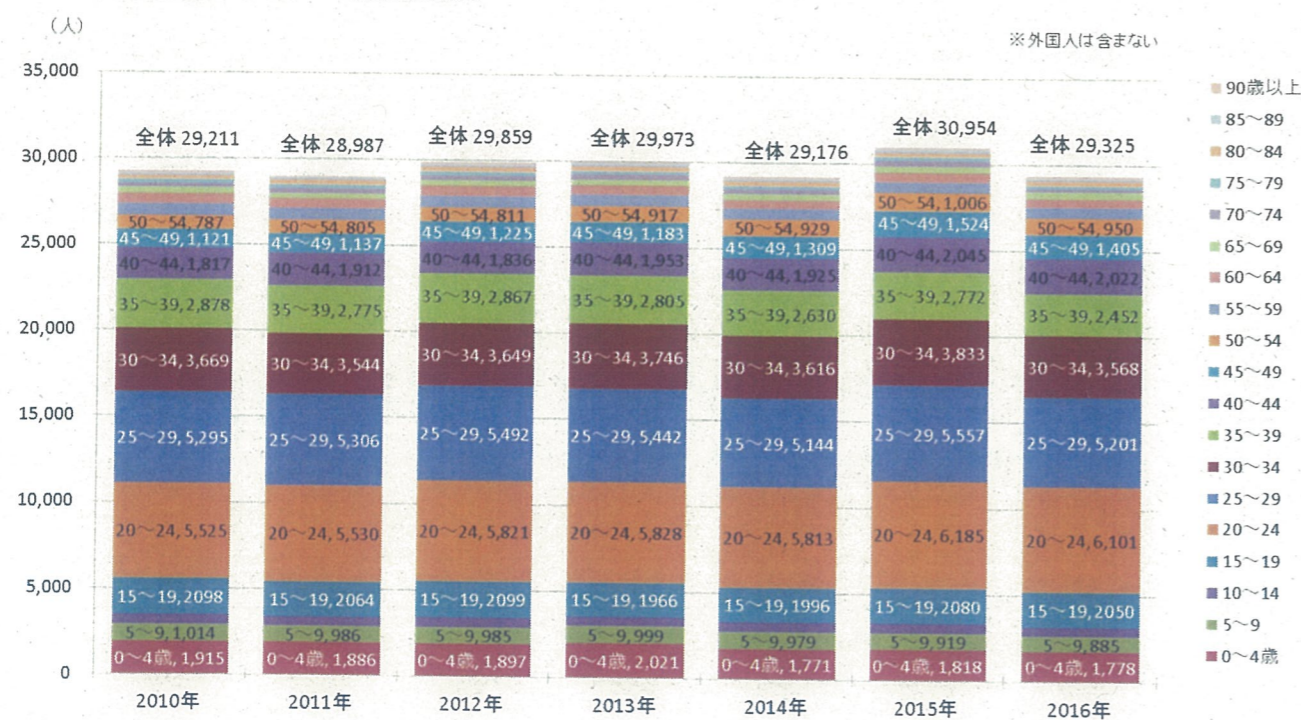
④ 45~49歳、50~54歳、55~59歳

・2013年の45~59歳の転入者数の合計は2,651人、転出者数の合計は2,767人となっており、116人の転出超過となっている。
 ・2014年の45~59歳の転入者数の合計は2,712人、転出者数の合計は2,854人となっており、142人の転出超過となっている。
 ・2016年の45~59歳の転入者数の合計は2,936人、転出者数の合計は2,971人となっており、35人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数と転出者数ともに増加している。

⑤ 60~64歳、65~69歳、70~74歳、75~79歳、80~84歳、85~89歳、90歳以上

・2013年の60~89歳、90歳以上の転入者数の合計は1,891人、転出者数の合計は1,911人となっており、20人の転出超過となっている。
 ・2014年の60~89歳、90歳以上の転入者数の合計は1,813人、転出者数の合計は1,860人となっており、47人の転出超過となっている。
 ・2016年の60~89歳、90歳以上の転入者数の合計は1,750人、転出者数の合計は1,802人となっており、52人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数と転出者数ともに減少している。

【図5】 転出者数の推移 (年齢階級別)

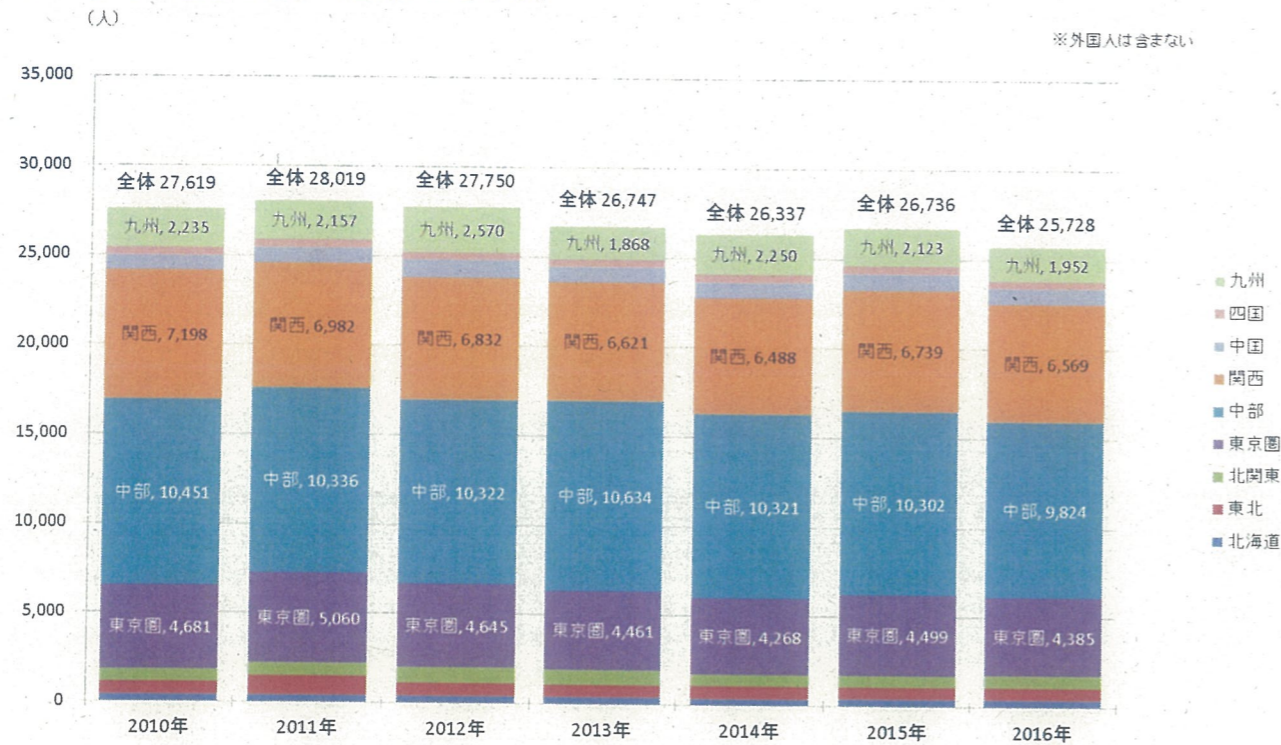


※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

・2016年の転入者数は、20歳~24歳(4,453人)、25歳~29歳(4,592人)、30歳~34歳(3,452人)が多く、全体の48.6%を占めている。
 ・2016年の転出者数は、20歳~24歳(6,101人)、25歳~29歳(5,201人)、30歳~34歳(3,568人)が多く、全体の50.7%を占めている。

(3) 三重県における転入者数、転出者数の推移 (地域ブロック別)

【図6】 転入者数の推移 (地域ブロック別)



◇地域ブロック別

・2016年の転入者数が減少している要因として、中部から三重県への転入者数が減少していることが大きく影響していると考えられる。

① 中部

- ・2013年の中部から三重県への転入者数は10,634人、転出者数は12,334人となっており、1,700人の転出超過となっている。
- ・2014年の中部から三重県への転入者数は10,321人、転出者数は11,784人となっており、1,463人の転出超過となっている。
- ・2016年の中部から三重県への転入者数は9,824人、転出者数は12,074人となっており、2,250人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数は大きく減少しているが、転出者数はほぼ同水準で推移している。

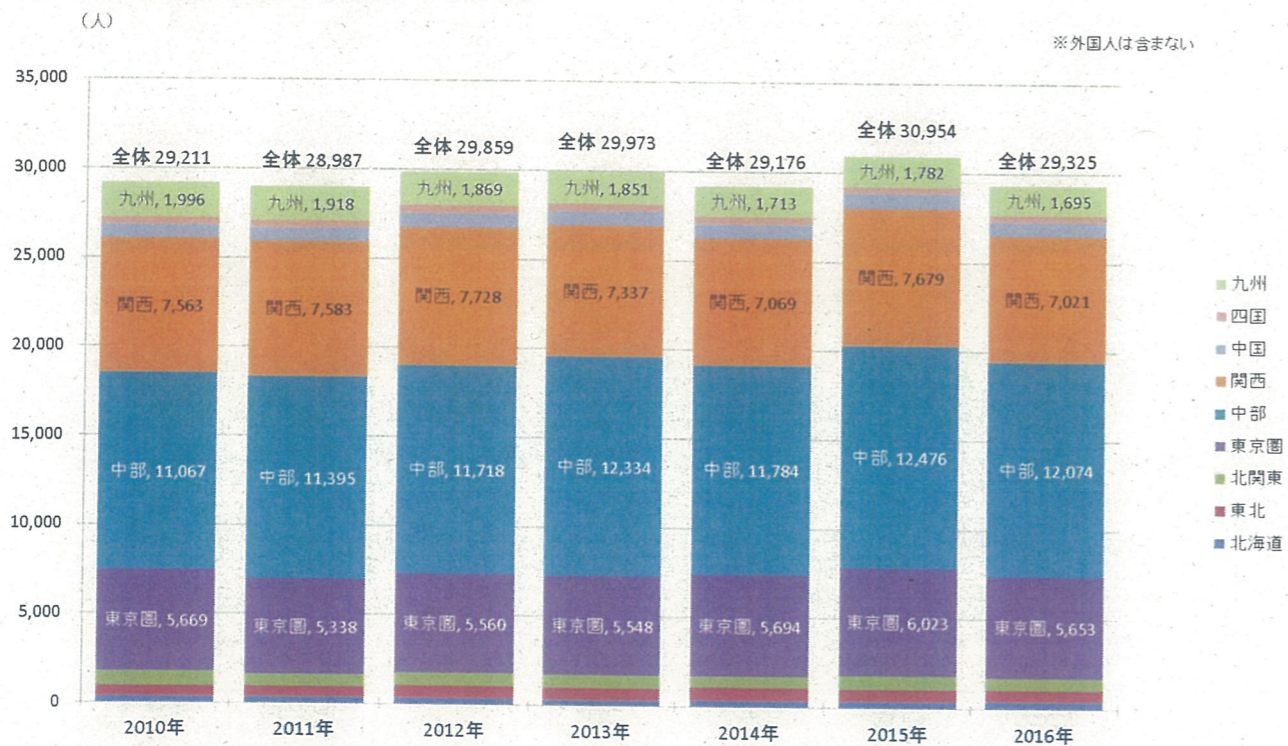
② 東京圏

- ・2013年の東京圏から三重県への転入者数は4,461人、転出者数は5,548人となっており、1,087人の転出超過となっている。
- ・2014年の東京圏から三重県への転入者数は4,268人、転出者数は5,694人となっており、1,426人の転出超過となっている。
- ・2016年の東京圏から三重県への転入者数は4,385人、転出者数は5,653人となっており、1,268人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数と転出者数は多少の増減があるものの、ほぼ同水準で推移している。

③ 関西

- ・2013年の関西から三重県への転入者数は6,621人、転出者数は7,337人となっており、716人の転出超過となっている。
- ・2014年の関西から三重県への転入者数は6,488人、転出者数は7,069人となっており、581人の転出超過となっている。
- ・2016年の関西から三重県への転入者数は6,569人、転出者数は7,021人となっており、452人の転出超過となっている。また、2013年、2014年と比べて、転入者数は多少の増減があるものの、ほぼ同水準で推移しているが、転出者数は減少している。

【図7】 転出者数の推移 (地域ブロック別)



※地域ブロック区分は下記のとおり

【東北】青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

【東京圏】埼玉、千葉、東京、神奈川

【関西】滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

【四国】徳島、香川、愛媛、高知

【北関東】茨城、栃木、群馬

【中部】新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

【中国】鳥取、島根、岡山、広島、山口

【九州】福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より作成

- ・2016年の転入者数は、中部(9,824人)、関西(6,569人)、東京圏(4,385人)が多く、全体の80.8%を占めている。
- ・2016年の転出者数は、中部(12,074人)、関西(7,021人)、東京圏(5,653人)が多く、全体の84.4%を占めている。